

# H28年産大麦情報 第1号

平成27年9月28日  
白山石川営農推進協議会  
石川県農業共済組合  
松任市農業協同組合

## 大麦栽培スタートまでの3大ポイント

目標単収：400kg/10a

- ①湿害回避・排水対策
- ②pH 矯正と適正な施肥
- ③適切な播種作業

### 圃場の準備

#### ● 排水対策の徹底

- ・ 周辺の水田や用水からの漏水による湿害を防止するため、額縁排水溝を設置し、圃場を乾かし、碎土率を高める。
- ・ 圃場内は、縦方向に数本（3m～5m間隔）、排水溝を入れて、額縁排水溝に連結させ、排水を良くする。（排水の悪い圃場では3m以内が望ましい）
- ・ 排水性を高めることで、碎土率が向上し、出芽・苗立ちや除草剤の効果が高まります。



幅3m以内の排水溝の設置

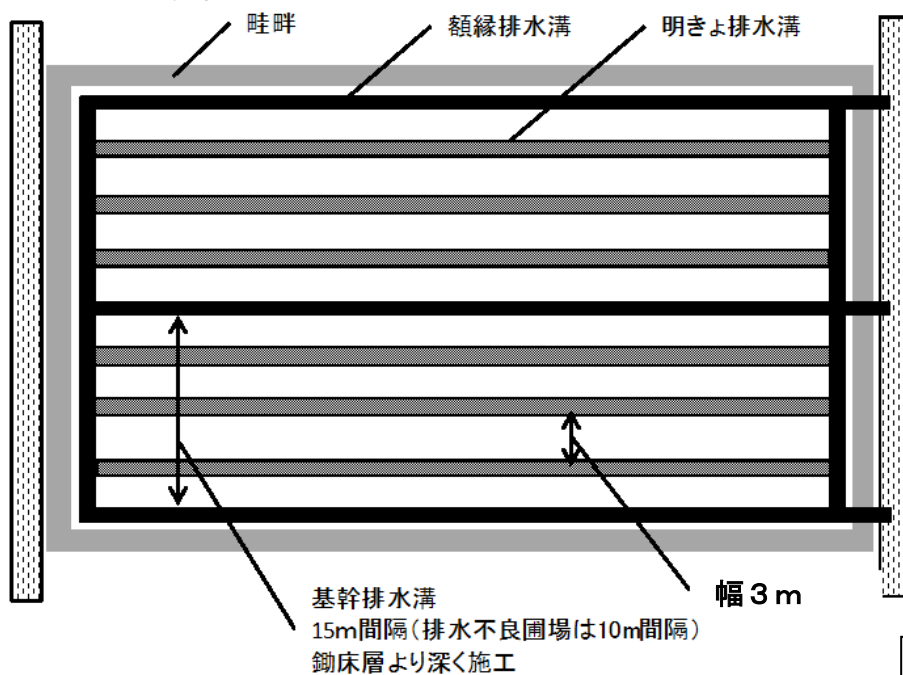


図 排水路の施工例



トレンチャーによる額縁排水溝の設置

### 播種・施肥

#### ● 土壌改良資材の散布

大麦は中性（pH6～6.5）の土壌が適するので、耕起前に「苦土石灰」または「BB転作エース」を施用し、大麦に適した土壌とする。

※参考：平成25年度JA松任管内 pHの平均値5.9

| 項目   | 肥料名              | 施用時期 | 施用量(kg/10a) |
|------|------------------|------|-------------|
| pH矯正 | 苦土石灰 または BB転作エース | 耕起前  | 100         |

#### ● 種子消毒・・・対象病害名：裸黒穂病、雲形病

| 薬剤名       | 使用量                         | 使用時期 | 使用回数 |
|-----------|-----------------------------|------|------|
| ベンレートTコート | 乾燥種子量の0.5%粉衣<br>(7kg当たり35g) | は種当日 | 1回   |

#### ● 播種時期と播種量

播種時期：10月10～20日

※但し、播種作業は土壌条件を優先すること。

播種量：7kg/10a

※適期に遅れる場合は1kg程度増やすこと。

| 播種方法 | 条間      | 播種深さ | 播種量     | 畦幅                      |
|------|---------|------|---------|-------------------------|
| 条播   | 25～30cm | 3cm  | 7kg/10a | 3～5m<br>(水はけの悪い圃場は3m以内) |

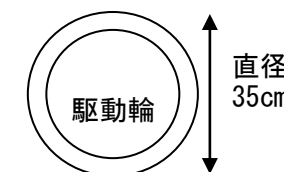
#### ※播種前の耕起作業

碎土率が劣ると出芽・苗立ちや除草効果が低下するので、**トラクターは低速走行・ロータリー回転数を上げて作業すること。**

#### ※ 播種機（ドリル播種）の播種量の調整

| 播種量     | 条間   | 1m当たりの種子繰り出し量 |
|---------|------|---------------|
| 7kg/10a | 30cm | 2.1g          |
|         | 28cm | 2.0g          |
|         | 26cm | 1.8g          |

※種子量2.1gは、約60粒となります。



直径：35cmの場合  
0.35 × 3.14 × 5 回転 = 5.50m  
落下種子量 ÷ 5.50m = 1m当たり種子量

- ・ 播種機を少し持ち上げ、落下部に皿などをあてて駆動輪を5回程度、回転させる。
- ・ 駆動輪の直径を測り、円周率（3.14）と回転させた数をかけあわせて駆動距離を算出する。
- ・ 落下した種子量を、駆動距離で割れば、1m当たりの播種量が求められる。
- ・ 作業時は駆動輪のスリップ等による誤差があるので、種子の消費量を見て修正する。

裏面もご覧ください

●基肥（基肥一発肥料体系）

| 肥料名                   | 施用時期 | 施用量      | 備考                               |
|-----------------------|------|----------|----------------------------------|
| BB大麦一発くん<br>(30-6-10) | 播種時  | 45kg/10a | 地力の低い圃場での増施は、<br>50kg/10aを上限とする。 |

除草剤散布

| 薬剤名           | 使用量       | 希釈水量 | 対象雑草                 | 備考                                  |
|---------------|-----------|------|----------------------|-------------------------------------|
| トレファノサイド粒剤2.5 | 4kg       | —    | 一年生雑草<br>(77°分科等は除く) | 播種後から出芽前までの間<br>(約1週間)<br>に必ず散布を行う。 |
| トレファノサイド乳剤    | 250ml     | 100ℓ | 一年生イネ科雑草             |                                     |
| クリアターン細粒剤F    | 4~5kg     | —    | 一年生雑草                |                                     |
| クリアターン乳剤      | 500~700ml | 100ℓ |                      |                                     |

- ・除草効果を高めるため、耕起時の碎土はできるだけ細かくしておく。
- ・播種直後の土が湿った状態で散布すると効果が高い。  
土壌が極端に乾燥している場合、液剤散布では、希釈水量を多めにする。
- ・散布直後に雨が予想される場合は、薬害回避のため降雨後に散布する。

排水溝の補修

- ・播種作業で排水溝が埋まる場合が多いので、必ず排水溝の補修を行い、円滑に排水ができるようにしておく。



大麦栽培の作業の流れ

